



# 木村広一の実績・取り組み

区有施設のトイレの洋式化・改修・備品の買い替えを推進！

区民活動センターを利用されている方から、トイレのドアが壊れていたり、和式トイレは高齢者の負担になっていると伺った。

木村広一は今後高齡化が進むにつれて、区有施設の洋式化が必要であることを実感。区有施設のトイレの約40%が和式トイレであることがわかり、議会ですべての施設のトイレの洋式化を要望。

それを受け、区は平成28～32年の5年間ですべての区民活動センター・高齢者会館のトイレの洋式化を計画。同時に施設の改修・補修を合わせて実施。28年にはイスや音響などの備品もすべて新品に取り換えた。

更に様々な障害の方が利用するスマイルなかの（中野区社会福祉会館）のトイレの洋式化も要望。現在3年計画で改修工事を実施中。



平成29年8月に改修を終えた  
弥生区民活動センター



今年3月に改修が終わり、新たに  
オープンした桃園区民センター